

平成26年度 第20回 滋賀県看護学会 あす — 未来を支える看護の力 —

平成26年12月5日（金）

今年で第20回を数える滋賀県看護学会が、300名近い参加者を集め盛大に開催されました。

看護学会委員会では、実践に根差した発表を通じて看護職が相互に学び合える場として、また身近で親しまれる学会として参加いただけるよう検討を重ねております。



【研究報告・実践報告】

今年度の特徴として、より多くの方に報告の場を提供したいとの考えから、研究報告に加え、実践報告の場を設定されたことです。その結果、研究報告10題、実践報告17題の演題が発表されました。どの会場も多くの参加者で溢れ、皆さん熱心に耳を傾け、質問もされていました。



【特別講演】「生活者としての“ひと”を見る」

講師に筑波大学名誉教授(医学博士)の紙屋克子先生をお迎えし、意識障害看護を通して、看護の役割と専門性についてご講演いただきました。症例を通して、看護介入の視点のすばらしさとその人らしさを生かした関わりに共感と感動を得ました。看護師は、一番ベッドサイドに長くいて、何を看着いるのか?と強い刺激を受けました。「ワンケア・ワンギフト・ワンリハビリ」、看護のやるべき役割を見つめ直し、未来への行動を考える機会となりました。



看護の可能性への挑戦

- * 機能拡大と専門性への期待
- * 変化を起こす看護
- * QOLから尊厳の時代へ
- * 看護の未来=新しい人との
出会い!
- * 自律・創造・社会貢献!



【リラクゼーションメニュー】

「手軽にできるツボ刺激 Part 2」—美と健康のために—

関西医療大学保健医療学部准教授の戸村多郎先生と同附属診療所研修員の大久保明信先生を講師にお迎えし、東洋医学に基づいたツボ刺激について、実演を交えて講義いただきました。参加された方は、先生の指導に従って、自分自身のツボをさぐりながら日頃の疲れを癒すと共に、触れることの大切さや自分の体との付き合い方を振り返ることができました。



【ホットひと息！】

2階ラウンジでは、東洋羽毛(株)様のご厚意でコーヒーなどの無料サービス、がんばカンパニーのクッキー等の販売など、ほっと一息！できる空間が設けられ、参加者の頭と体を休める憩いの場となりました。ご協力ありがとうございました。

